



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
目指す生徒像 「あいさつ・がまん・あとしまつ」のできる生徒

村上市立荒川中学校
令和6年度第2号
令和6年5月15日発行

いじめ見逃しゼロの取組

校長 西村 諭

爽やかな初夏の風が吹き渡る、気持ちのよい季節となりました。

4月27日の授業参観では、多くの皆様からご参加いただきましてありがとうございます。生徒の様子をご覧になっていかがだったでしょうか。また、PTA総会や学年・学級懇談会等では、学校いじめ防止基本方針、部活動の地域移行、学年・学級経営方針等の説明をさせていただきました。時間が限られており十分な説明とはならなかったと思いますが、皆様のご理解とご協力を得ながら教育活動を進めて参りたいと考えておりますので、何かありましたらご連絡ください。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、新学期から一月が過ぎ、生徒は新しい環境に慣れ始めて、持ち前の力を発揮しています。下の写真は、全校朝会で生徒の活躍を紹介している様子です。3年生の最上級生としてのリーダーシップ、2年生の明るく積極的な学習態度、1年生の素直で元気な生活態度等をスライドで映し出しました。好ましい行動様



式を身に付けて、充実した学校生活を送って欲しいと思います。

しかし、ゴールデンウィーク明けは、長い休みのせいで緊張感が薄れ、不安定になりやすい時期となります。実は5月はいじめが発生しやすい月でもあります。全校朝会の後半は、「いじめ」をテーマに講話を行い、次のことについて、生徒と考えました。

- 一人一人が異なる個性をもち、かけがえのない存在であること
- 周りにいる生徒の言動が、いじめの発生に影響するということ
- ちよつとしたことで、いじめの加害者と被害者が入れ代わる場合があるということ

講話の途中で、数名の生徒から問題の核心に触れる発表があり、ポイントが整理され講話を終えました。今月は校長講話を皮切りに、「いじめ」を題材として道徳の授業が行われます。一か月を掛けて、全学年でいじめについて深く考えていきます。いじめは、人の心を将来にわたって深く傷つける人権問題です。生徒にとって安全・安心な場所であるべき学校において、決して許されない行為です。学校は家庭や地域と力を合わせて、「いじめをしない。見逃さない」取組を推進して参ります。